

山形県新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部 第34回本部員会議 議事要旨

日 時 令和3年6月10日（木）午後3時～午後3時25分
場 所 県庁5階 502会議室
出席者 知事（本部長）、各部局長等（各本部員等）、特命補佐

1 開 会（午後3時）

2 知事挨拶

全国の新規感染者数は、5月中旬以降減少が続いており、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域でも概ね減少傾向となっております。

一方、変異株のうち、N501Y変異株よりも感染力が強いとされるインド由来の変異株の感染が各地で確認されております。人流の増加が見られる地域もあり、今後リバウンドの可能性も考えられ、引き続き予断を許さない状況と捉えております。

県内では、大型連休明けから、N501Y変異株への置き換わりが進み、高校や飲食店でのクラスターの発生などもあり、感染が拡大したところですが、県民の皆様や事業者の皆様の皆様のご理解とご協力のもと、県民一丸となって感染防止対策に取り組んだ結果、先月末から新規感染者数が一桁の日が続き、昨日（6月9日）には、88日ぶりにゼロとなるなど、感染状況は比較的落ち着きつつあります。

こうした中、置賜地域の医療提供体制のひっ迫度合いが高止まりしていたことから、県と南陽市の合同要請の期間を6月4日から1週間程度延長し、南陽市民の皆様にご不要不急の外出自粛などの合同要請を行っているところです。

本日は、最近の発生状況等を確認するとともに、南陽市との合同要請の取扱いについて協議・決定したいと考えておりますので、皆さんよろしく願いいたします。

3 協議

（1）新型コロナウイルス感染症の発生状況等について（資料P1～P8）

- 防災くらし安心部長及び医療統括監から、国内及び県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について報告した。
- 質問、意見なし。

（2）南陽市と連携した感染拡大防止の取組みについて（資料P9～P13）

- 防災くらし安心部長から、南陽市における新型コロナウイルス感染症の発生状況及び県と南陽市の合同要請の今後の取扱いについて説明した。
- 質問、意見なし。
- 知事から以下のとおり発言があった。

それでは、説明のとおり、県と南陽市の合同要請については、本日6月10

日をもって終了することといたしますが、引き続き、飲食店における業種別ガイドライン遵守の徹底や、正しいマスクの着用やこまめな手洗い、消毒、三つの密の回避、換気の励行などの基本的な感染防止対策の徹底、感染拡大地域との往来を控えていただくことを呼びかけることといたします。

(3) その他

- 発言なし。

【知事指示事項】

南陽市では、6月6日以降、新規感染者ゼロが5日間連続で続き、直近1週間の人口10万人あたりの新規陽性者数が改善したことや、公立置賜総合病院の病床占有率も、今後、改善が見込まれることなどを総合的に判断し、県と南陽市の合同要請については、本日6月10日をもって終了することとしました。

本県では、5月末から、新規感染者数が一桁の日が続き、新規感染者が確認されない日もあるなど、感染状況は落ち着きつつあります。全国では、N501Y変異株より感染力が強いとされるインド由来の変異株の感染が各地で確認されており、一部地域では人流の増加も見られることから、今後リバウンドの可能性も考えられますので、引き続き、感染防止対策に取り組む必要があります。そのため3点指示します。

- 1 県民の皆様には、正しいマスクの着用やこまめな手洗い、消毒、3つの密の回避、換気の励行などの基本的な感染防止対策の徹底、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域などとの往来を控えていただくことについて、市町村と連携し、しっかりと周知してください。
- 2 飲食店事業者の方々には、従業員の健康管理をはじめ、業種別ガイドラインの遵守を徹底すること、また、飲食店利用者には、感染対策が講じられたお店で、少人数・短時間、マスク飲食を徹底し、飲酒を伴うカラオケは控えることを市町村や関係団体等と連携し、しっかりと周知してください。
- 3 引き続き、積極的疫学調査をしっかりと進め、感染拡大の阻止に全力を挙げるとともに、県内の医療現場のひっ迫を招かないよう、受入れ医療機関との広域的な調整や宿泊療養施設の活用、更なる病床の確保など、感染者の療養先の調整をしっかりと進めてください。

一刻も早く感染を収束させられるよう、県民の皆さんと一丸となって、このコロナの難局を乗り越えてまいりましょう。

4 閉 会（午後3時25分）